



# 天理教をめぐる日本の近現代

天理教は、教祖中山みき（1798～1887）が幕末に創唱した新宗教で、本部のある奈良県天理市は、新宗教名が市の名前になった日本で唯一の町です。天理王命という神を信仰する一神教的な宗教で、今でも100万人以上の信者がいます。最初は淫祀邪教として社会的な批判を浴びますが、やがて国の政策に同調して教典を改め、教派神道として認められます。その歴史には、独自の信仰に基づいた活動と、国策の積極的な推進という両面が見られました。また戦前に最も積極的に海外布教を行った教団で、布教者を養成する天理外国語学校（現・天理大学）では、多様な言語が教えられていました。現在でも天理教の信者は、世界各地にいます。



国際文化情報社「国際文化画報」  
(1954年7月)より

本講座では、天理教という視点から日本の近現代を考えることによって、歴史を見る新たな目を模索したいと思います。

## 12月15日(土) 午後4時30分～6時

定員：30人(先着制)

受講料：一般800円、市民600円、会員500円



講師

### 藤井 健志

東京学芸大学 人文科学講座 教授

今後の  
開催予定  
(各回申込み)

- ④ 1/12(土) 16:30～18:00 「明治50(1918)年—久米邦武と近代の行方」  
M.W. スティール (国際基督教大学名誉教授)
- ⑤ 1/26(土) 16:00～17:30 「日本近代とアイヌ民族」  
檜皮 瑞樹 (東京経済大学史料室)

お申し込み・お問い合わせ

三鷹ネットワーク大学推進機構

申込開始 ▶ 11月20日(火) 午前9時30分～

FAX 0422-40-0314 お問い合わせ電話 0422-40-0313

URL <https://www.mitaka-univ.org/>

郵送先 〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

## 天理教をめぐる日本の近現代

## 講座趣旨

この連続講座では、日本の近代をより幅広く複合的な文脈から解き明かします。

明治維新以来 150 年の日本の近代化の歴史は、どのように語られてきたのでしょうか。「明治維新」天皇の下での中央集権国家の確立。「文明開化」日本社会の西洋化及び工業と軍隊の近代化。「帝国主義」戦争・勝利・敗戦。「民主主義」平和的かつ民主的社会としての日本の再出発。こうした歴史叙述がなされてきました。

しかし、そこには別のストーリーもあったのではないのでしょうか。5 人の講師が、それぞれの視点から挑みます。

## 講座開催概要

日 程	平成 30 年 12 月 15 日 土曜日
時 間	午後 4 時 30 分～6 時
定 員	30 人(先着制)
回 数	1 回
受講料	一般 800 円、市民 600 円、 会員 500 円
教 材	レジュメ資料ほか <small>※講義スライドと配布資料は、異なる場合がございます。</small>
難易度	★☆☆
会 場	三鷹ネットワーク大学
申し込み	<input type="checkbox"/> WEB <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 郵送 <input type="checkbox"/> 窓口 申込受付: 11 月 20 日(火) 午前 9 時 30 分～

## 天理教をめぐる日本の近現代

12 月 15 日

天理教は、教祖中山みき（1798～1887）が幕末に創唱した新宗教で、本部のある奈良県天理市は、新宗教名が市の名前になった日本で唯一の町です。天理王命という神を信仰する一神教的な宗教で、今でも 100 万人以上の信者がいます。最初は淫祀邪教として社会的な批判を浴びますが、やがて国の政策に同調して教典を改め、教派神道として認められます。その歴史には、独自の信仰に基づいた活動と、国策の積極的な推進という両面が見られました。また戦前に最も積極的に海外布教を行った教団で、布教者を養成する天理外国語学校（現・天理大学）では、多様な言語が教えられていました。現在でも天理教の信者は、世界各地にいます。

本講座では、天理教という視点から日本の近現代を考えることによって、歴史を見る新たな目を模索したいと思います。

## 講師紹介（敬称略）

## 藤井 健志（ふじい たけし）東京学芸大学 人文科学講座 教授

1954 年、東京生まれ。東京大学大学院博士課程退学（宗教学宗教学専攻）。國學院大學日本文化研究所嘱託研究員を経て、86 年に東京学芸大学に着任（人文科学講座に所属し、現在は新設の教育支援課程多文化共生教育コースで教える）。宗教社会学、日本近代宗教史を専門とし、最近では台湾を中心として、海外での日本宗教の拡がりを研究している。

著書は『日中両国の視点から語る植民地期満洲の宗教』（共著、柏書房、2007 年）、『新アジア仏教史 14 近代国家と仏教』（共著、佼成出版社、2011 年）、「日本統治時代の台湾における仏教系新宗教の展開と普遍主義」（『アジア遊学』222 号、2018 年）等

今後の講座	講師	題目
④ 1/12(土) 16:30～18:00	M.W. スティール (国際基督教大学 名誉教授)	「明治 50(1918)年一久米邦武と近代の行方」
⑤ 1/26(土) 16:00～17:30	檜皮 瑞樹 (東京経済大学 史料室)	「日本近代とアイヌ民族」

## 三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

\*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

※太枠内の項目は必須事項です。

登録日：平成 年 月 日

<b>お名前</b>	フリガナ	<b>性別</b>	男・女	<b>生年月日</b>	西暦 年 月 日
<b>受講者区分</b> ※該当する番号を1つ選んで○をつけてください。	(1)【市民】三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2)【市民(在勤・在学)】三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3)【市民学生】三鷹市にお住まいの学生の方 (4)【会員】勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5)【一般】三鷹市外にお住まいの方				

<b>Eメール</b>					
<b>緊急連絡先</b>	携帯電話番号：		携帯Eメール：		

《郵便物の送付先※振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

<b>郵便物送付先</b>	ご自宅	勤務先
---------------	-----	-----

《ご自宅》

<b>ご住所</b>	〒 —			
<b>電話番号</b>		F A X		

《勤務先・学校名等》

<b>勤務先名称</b>	※学生の場合は学校名と学部・学科名			
<b>勤務先部署名</b>	※学生の場合は学籍番号		役職名	
<b>ご住所</b>	〒 —			
<b>電話番号</b>		F A X		

《ご職業等》※職種・業種について該当するものにそれぞれ○をつけてください。

<b>勤務先業種</b>	①官公庁 ②団体 ③教育 ④宗教 ⑤医療 ⑥建設 ⑦金融・保険 ⑧製造 ⑨運輸・通信 ⑩農林水産 ⑪電気・水道 ⑫不動産 ⑬卸・小売 ⑭飲食 ⑮IT・ソフト ⑯その他
<b>職業(職種)</b>	①経営者 ②役員・管理職 ③一般事務 ④営業 ⑤販売・サービス ⑥生産管理 ⑦研究開発 ⑧専門職(医師・弁護士等) ⑨教職 ⑩自由業 ⑪専業主婦 ⑫無職 ⑬その他

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

<b>情報提供</b>	希望する	希望しない
-------------	------	-------

《興味をお持ちの分野》※3つまでお選びください。

1経営・経済学	2歴史学	3法学	4文学	5工学	6教育学	7福祉・医療	8介護・看護
9コンピューターサイエンス	10アジア・アフリカ系言語	11総合政策	12国際関係論	13政治学	14天文学	15農学	16臨床心理学
17カウンセリング学	18社会心理学	19国際コミュニケーション学	20スポーツ医学	21マーケティング学	22人間環境学	23キャリアデザイン等	24社会福祉学
25情報科学	26情報コミュニケーション学	27グローバルビジネス学	28宗教学	29平和学	30生物学	31化学	32数学
33教養学	34建築学	35その他					

◆**受講者登録について** \*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に（講座のお申し込みと同時に）、必ず受講者登録を済ませてください。ご登録をしていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を記入する手間がなくなります。またインターネットからのお申し込みも可能となります。

◆**個人情報について**

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

C46

明治 150 年連続講座 “Alternative Narratives” 日本近代をめぐる視座 ③

## 天理教をめぐる日本の近現代

申込用紙

受講者 番号	E から始まる数字 6 ケタをご記入ください。 E .....	申込日	平成 30 年 月 日
名前	フリガナ	電話番号	

※申込欄に○をご記入ください。

申込欄	講座タイトル・講師（敬称略）・講座日程	受講料		領収印
	明治 150 年連続講座 ③ 天理教をめぐる日本の近現代 講師：藤井 健志（ふじい たけし） 東京学芸大学 人文科学講座 教授 日程：平成 30 年 12 月 15 日 土曜日 午後 4 時 30 分～6 時 [C1854600]	一般	800 円	文化・教養
		市民	600 円	
		会員	500 円	

※ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422（40）0313 ファックス：0422（40）0314

[郵送での申込]〒181-0013 三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル 3 階 三鷹ネットワーク大学事務局

この講座をどこでお知りになりましたか？（該当するものに○を1つだけご記入ください）

- |                     |                |           |
|---------------------|----------------|-----------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 5. 学内ポスター・チラシ  | 9. その他（ ） |
| 2. ダイレクトメール         | 6. 講師・教職員よりの紹介 |           |
| 3. 三鷹市広報            | 7. 友人・知人よりの紹介  |           |
| 4. ポスター／チラシ         | 8. 新聞記事等       |           |

## 【ご受講について】

## ●受講料のお支払いについて

受講予定者の方には、受講料のお支払い方法についてのご案内をお送りします。郵便振替、現金等、書類に記載されている方法で、お支払いくださいますようお願いいたします。受講予定者としてご通知した方からの受講料のお支払いを事務局が確認できた時点で、受講が確定します。期日までに受講料をお支払いいただけない場合には、お申し込みを取り消す場合がありますのでご注意ください。※お支払い方法は、講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください。

## ●受講のキャンセルについて

- 講座申し込み後にお客様の事情により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。
- 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座のキャンセルをしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申込期間内のみ受け付けます。
- 受講料入金後のキャンセルについて

## 1. 講座前日（連続講座の場合は第一回講座前日）までに申し出があった場合

キャンセルの申し出があった日から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、全額返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は 500 円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料 500 円以下の講座については返金いたしません。

## 2. 講座当日（連続講座の場合は第一回講座当日）、講座開始時刻前に申し出があった場合

講座当日（連続講座の場合は第一回講座当日）から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、500 円の手数料を差し引いた残額を返金します。なお、2週間を過ぎても受け取りに来ていただけなかった場合は 500 円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。この場合、受講料 500 円以下の講座については返金いたしません。

## 3. 1, 2以外のキャンセルの場合

受講料の返金はいたしません。

## ●受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。受講資格を他の人に譲渡することはできません。